

事業名	体育協会助成費		
細事業名	県体育協会補助金(諸スポーツ大会)	財務コード	163002
担当部課室	教育委員会	スポーツ健康 課	スポーツ企画 担当(内線) 8407

## 事業の概要

実施期間	始期 S45 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助 ((公財)山梨県体育協会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に 各スポーツ大会	その対象をどのような状態にして 関東大会以上の大会誘致の促進や大会の円滑な運営ができる	結果、何に結びつけるのか 県民のスポーツ活動と参加機会の充実及び競技力の向上
	各競技団体が開催するスポーツ大会のうち本県で開催される関東大会以上の開催経費に対し助成する。		
事業の内容 主にH25年度	補助先 (公財)山梨県体育協会)		
	補助基準 ・関東大会:5万円(H25年度開催回数 9回) ・東日本大会:7万円(H25年度開催回数 0回) ・全国大会:10万円(H25年度開催回数 2回) ・(財)日本体育協会加盟中央競技団体が主催し、賜杯が下賜される全国大会:20万円(H25年度開催回数 0回) ・上記の基準を満たした上に、総事業費が1千万円以上の大会:30万円(H25年度開催回数 0回)		
根拠法令等	スポーツ基本法第34条(地方公共団体の補助)、(公財)山梨県体育協会事業費補助金交付要綱		

## 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	24年度	25年度		26年度	27年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 補助した大会数/ 関東大会以上の 大会開催数	11回/11回	14回/14回	11回/11回	9回/9回		目標設定の考え方 (公財)山梨県体育協会の報告数に基づき算出した。
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		78.6 %			データの出典等 (公財)山梨県体育協会の事業報告
成果指標 参加人数(人)	4,080人	5,806人	5,337人	4,770人		目標設定の考え方 (公財)山梨県体育協会の報告数に基づき算出した。
	成果指標達成率 (実績値/目標値)		91.9 %			データの出典等 (公財)山梨県体育協会の事業報告
決算額又は予算額 (千円) うち一財額	720		650	600		成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	2 時間		2 時間	2 時間	時間	
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間	
所要時間計	2 時間		2 時間	2 時間	0 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	4		4	4	0	

## これまでの事業の見直し・改善状況

平成11年度から、県外で開催される大会へ参加するための経費は補助対象から除外。

**活動量と成果の判断(平成25年度の業績評価)**

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H25年度活動指標の達成率		天候上の都合から3大会が中止となり達成率は78.6%となっているが自然現象によるやむを得ないものであり、県内で開催された関東大会以上の大会に対しては11件中11件の補助を行ったことから概ね目標どりの活動量であると考え。
c	b	水不足による中止 1件 台風による中止 1件 大雪による中止 1件

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)    b: 予定どりの活動量がある(80%以上120%未満)    c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H25年度成果指標の達成率		関東大会、全国大会等のスポーツ大会が本県で開催されることにより、県民のスポーツへの関心や参加機会の拡大及び競技力の向上が図られていると考える。関東大会、全国大会など例年県内で開催されるものではないため、年間の参加人数にバラツキはあるものの、概ね目標とした参加人数を確保することが出来ており、意図した成果はほぼ上げている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)    b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)    c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)    d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

**見直しの必要性(平成27年度に向けた改善等の考え方)**

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	本県で開催される関東大会規模以上の大会開催費を助成することにより円滑な事業実施が可能となり、その結果、各種大会が県内で開催されることにより、競技力の向上や県民のスポーツに親しむ機会の充実が図られている。また、本県のスポーツ振興及び本県を広く全国に紹介する機会としても意義があるものとする。 しかしながら、事務の効率化の観点から他の体育協会への補助金との統合を検討するものとし、各大会の実行委員等に対し、医科学講習会を開催し、より安全な大会運営が図れる体制づくりを行うことができるよう本事業、スポーツ少年団育成事業及びスポーツ医・科学補助事業を統合することとしたい。	b・j

・「以外の判断項目」の欄  
a: 目的の達成    b: 新たな課題への対応    c: 対象の変化    d: ニーズの変化    e: 法律・制度の改正    f: 民間等実施    g: 市町村等へ移管    h: 外部委託  
i: 経費節減    j: 類似事業と統合・連携    k: 所要時間の縮減    l: プロセスの改善    m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

**見直しの方向(平成27年度当初予算等での対応状況)**

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
他事業と統合	スポーツ少年団育成事業、スポーツ医・科学補助事業の2事業と統合することにより、青少年のスポーツ環境改善とともに、業務の効率化を図る。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること